

第3回主会場選定専門委員会の審議結果について

標記専門委員会の第3回会議が平成26年1月30日に開催され、その結果は以下のとおりでした。

1. 日 時 平成26年1月30日(木) 9:30-12:00
2. 場 所 滋賀県庁新館4階 教育委員会室
3. 出席委員 宇田川 真之、大西 美和、北沢 繁和、小浦 久子、西條 智晴、坂 一郎、辻井 弘子、中井 敏勝、原 陽一、平林 光彦、松田 保、山崎 薫、横山 勝彦(委員長)、吉田 政幸(50音順:敬称略)

4. 議事概要

(1) 説明・報告事項

市町ヒアリングおよび関係競技団体ヒアリングの結果について、以下の資料により事務局より報告。

【資料1】主会場選定にかかる市町照会 結果概要

【資料2】主会場選定にかかる関係競技団体聞き取り概要

(2) 審議事項

① 各候補地の配置計画(案)、事業費、整備スケジュールについて

彦根総合運動場(A案:野球場存置)、希望が丘文化公園、びわこ文化公園都市の3案に絞って検討することを説明のうえ、以下の資料により事務局より説明、比較検討の資料とすることを確認。

【資料3】各施設配置計画(案)に対する概算事業費

【資料4】主会場整備スケジュール(案)

② 比較評価調書(素案)について

以下の資料を基に議論を行い、項目等修正のうえ次回委員会にて評価を行う際の資料とすること、委員会としてのまとめは総合評価により行うことを確認。

【資料5】主会場選定にあたっての比較評価調書(素案)

【資料6】「比較評価調書(素案)」評価表イメージ

5. 課題の整理および主な意見

裏面のとおり

第3回主会場選定専門委員会における課題の整理および主な意見

【課題の整理】

<彦根総合運動場>

- ・ 建築に際しての法令上の課題回避、日常利用のために必要なスペース確保のための用地確保が必須
- ・ 世界遺産登録に与える影響については、彦根市においてバッファゾーンの見直し等も含め対応を検討

<希望が丘文化公園>

- ・ 「自然公園」として定着している現公園の位置づけが、主会場整備により大きく変わること
- ・ 交通アクセス改善に向けた場内通路の改良（橋りょう架替等）、スマートインター整備など、高速道路からのアクセス改善

<びわこ文化公園都市>

- ・ 大規模な保安林解除を伴う都市公園整備構想策定、環境アセスメント等の不確定要素への対処などの課題
- ・ ランニングコストの増加を伴う新たな公共施設の整備となること

【主な意見】

<「多目的性(将来の利活用)」の観点から、評価項目として整理すべきとされた事項>

- ・ 民間の商業施設や宿泊・飲食といったサービス施設の導入可能性
- ・ ネーミングライツの スポンサー獲得の容易性
- ・ Jリーグの会場としての活用可能性
- ・ スポーツイベントだけでなく、音楽のライブなどの開催可能性
- ・ 県外からの受援・避難の受入れが可能な広域防災拠点としての活用可能性
- ・ 女性や子ども、高齢者など、多様な人が使いやすい施設とできる可能性
- ・ 大学をはじめ、学校との連携のしやすさ

<その他>

- ・ 主会場の評価項目にはできないかもしれないが、県内全域を見たときの体育施設の配置バランスも地域活性化に向け大事な視点である。付帯意見のような形で報告に反映することも検討すべき。
- ・ 評価方法について、定量化するより、委員それぞれが自ら総合的に考えて出した結論を持ち寄り議論するほうがよい。